

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00	3.1
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50	
2 設備騒音対策				-	-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>1.2 遮音</b>				<b>1.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50	
1 開口部遮音性能		住居部: 開口部遮音性能) T-2		<b>1.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能				-	-	<b>3.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	<b>3.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	<b>3.0</b>	0.20	
<b>1.3 吸音</b>				-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	2.9
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00	
1 室温				<b>3.0</b>	0.63	-	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	1.00	
4 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>1.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.8</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	3.8
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>1.8</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 昼光率		住居部: 2.14%		<b>1.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.50	
2 方位別開口				-	-	<b>3.0</b>	0.30	
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御		住居部は、カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御		<b>2.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		共用部の照明をタイマーにて自動制御している		<b>5.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	3.6
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		F の建築材料をほぼ全面的に採用		<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 自然換気性能				-	-	<b>3.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	3.1
<b>1 機能性</b>				<b>3.4</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00	3.2
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>4.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		100Mbitクラスのプロードバンド利用可能		-	-	<b>4.0</b>	1.00	
3 バリアフリー計画		バリアフリー-新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)満足		<b>4.0</b>	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	<b>3.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				<b>3.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.31	-	-	3.2
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.4</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		免震構造の採用		<b>5.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.0</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3		<b>5.0</b>	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		LD:床フローリングt12,壁ビニールクロス(PBt12.5),天井ビニールクロス(PBt9.5)		<b>4.0</b>	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>2.0</b>	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.4	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20			
5	通信・情報設備	メタルケーブルにて電話引込み、光ケーブルにてインターネットを引込み通信の多様化を図り、精密機械は地上階に設置している	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.0	0.29		2.8	1.00 2.8
3.1 空間のゆとり						2.6	0.50
1	階高のゆとり				3.0		0.60
2	空間の形状・自由さ				2.0		0.40
3.2 荷重のゆとり					3.0		0.50
3.3 設備の更新性			3.0	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		中・高木の水平投影面積率24.72%	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.9
LR1 エネルギー				0.40			4.6
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー対策等級4を取得予定	5.0	0.40			5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		LED照明設備及び潜熱回収型給湯器を採用している	5.0	0.40			5.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	5.0				
		集合住宅の評価	5.0				
4 効率的運用							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.2
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1 節水		水栓に水優先吐水機能(節湯C1)、節水型便器を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無						
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63			3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用(外構)	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、GL工法も採用している	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤						
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=71%	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			3.4	0.33			3.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		隣棟間隔指標Rw=1.51、地表面対策面積率=84.25%	4.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	駐輪場(バイク置場含む)、駐車場及び管理用車両の駐車施設を確保	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動						
3	悪臭						
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		1.0				
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの項目の過半を満たし、広告物照明は行っていない	5.0	0.70			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			